

リニューアル OPEN! 柏崎刈羽原子力発電所 サービスホール 1階キッズスペース **キッズフォレスト**

キッズフォレストは“森”をテーマにしたサービスホールの新しいキッズスペースです。(0歳～小学生くらいまでのお子さま対象) **入館料 無料**

★かげのもり
ちょっと不思議な影あそびを体験!

★ぼーるのいけ
ボールロードを作って遊ぼう!
3～12歳までのお子さまの遊び場です。
小さなお子さまのご利用はご注意ください。

★おはなしのひろば
家族みんなで楽しめるスペースです!
工作やワークショップを行うみんなの集いの場です。

★あそびのはらっぱ
小さなお子さまが遊具で自由に遊べるスペースです!
7歳以下のお子さまの遊び場です。

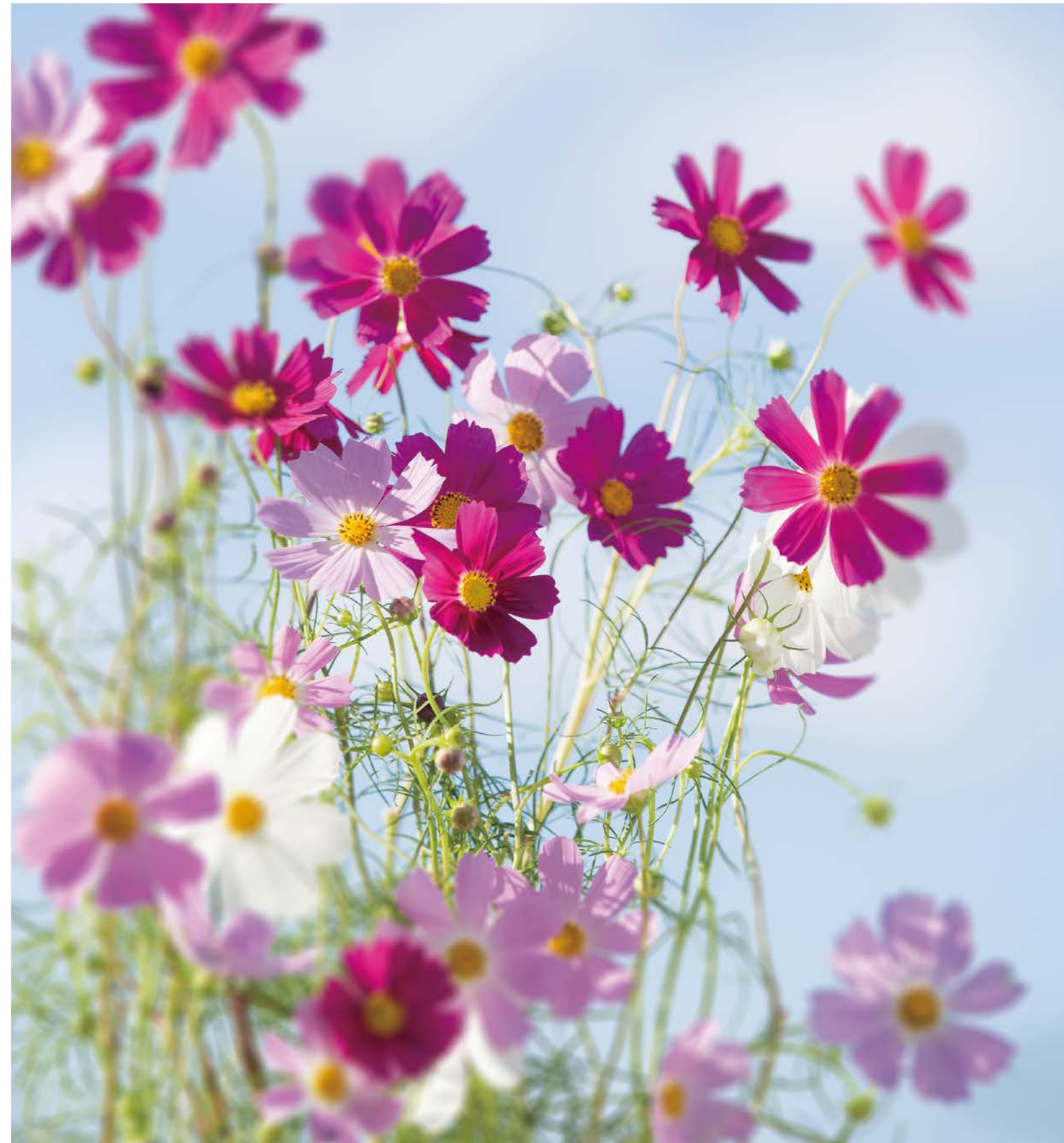
すべて無料でご利用いただけます

Service hall KIDS FOREST

柏崎刈羽原子力発電所 至西山・新潟
←至柏崎市街 352
サービスホール
JR越後線 びあパークとうりんぼ
ホームセンター コンビニ き・な・せ
コンビニ 116 至出雲崎・新潟

お問い合わせ 発電所サービスホール [開館時間 9:00～16:30]
刈羽村大字刈羽4236-1 TEL.0120-344-053(9:00～17:00) 休館日:毎週第1水曜日(祝日の場合は第2水曜日)

- 発電所ニュース ● 発電所の一員として ● 消防訓練競技で優勝 ● 新規制基準への適合性審査の状況
- サービスホールリニューアルOPEN! ● 発電所DATA



発電所DATA (2016年9月1日現在)

▶▶ 柏崎刈羽原子力発電所で現在働く人は6,619人です。
【東京電力ホールディングス】(人) 【協力企業*】 (人)

県内	柏崎市	847	県内	柏崎市	2,446
	刈羽村	88		刈羽村	224
	その他	126		その他	1,232
県外	109	県外	1,547	〈合計〉	5,449
〈合計〉		1,170	〈合計〉		5,449

※登録人数を計上 (9月1日時点の入構者数は3,917人)

▶▶ プラントの状況

1号機 停止中	2号機 停止中*	3号機 停止中*	4号機 停止中*
5号機 停止中	6号機 停止中	7号機 停止中	

※新潟県中越沖地震 (2007.7.16) 以降停止中

へんしゅう後記

9月18日、リオパラリンピックが12日間の熱戦に幕を下ろしました。車いすテニス男子シングルスでは、3連覇を目指していた国枝慎吾選手が、残念ながら準々決勝で敗退してしまいましたが、ダブルスでは見事に銅メダルを獲得されました。「東京2020」については、「やらないと後悔する。人生に大きな影響を与えました」と語っています。国枝選手のみならず、日本人選手のさらなる飛躍を期待しています。

● 今月号の表紙/コスモス
キク科のコスモスは外来種だが、今では日本全国で親しまれており、夏の終わり頃から咲き始める。9月末から10月半ばにかけて本格的な花期を迎え、秋の野山を華やかに彩る。

[NEWSアトム URL] <http://www.tepco.co.jp/kk-np/pr/newsatom/index-j.html>

2016年10月2日(H28-R-07)
● 編集発行責任者: 東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46 ☎0120-120-448(平日 9～17時)

「地域の皆さまへの説明会」を開催しました

9月13日に柏崎市、9月14日に刈羽村にて、「地域の皆さまへの説明会」を開催し、両日合わせて103名の方々にご来場いただきました。

第一部では、当社から以下の4点についてご説明しました。

【第一部での当社からの説明内容】

- ①東京電力の反省と誓い
- ②適合性審査の状況について
- ③福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた安全対策の取り組み状況
- ④原子力災害発生時の取り組みについて

第二部では、ご来場の皆さまから貴重なご意見を直接お伺いすることができました。

皆さまからいただいたご意見を真摯に受け止め、発電所のさらなる安全性の向上に努めてまいります。



適合性審査の状況についての説明



開会にあたり、挨拶をする
原子力・立地本部長の姉川



ご質問に回答する
発電所長の設案

平成27年度の 発電所周辺環境監視調査結果のお知らせ

新潟県および当社は、「放射線」や「温排水」が柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境へ与える影響について、継続して調査しています。

平成28年8月30日、安全協定に基づく「新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議^{*}」が開催され、平成27年度の当発電所周辺の環境放射線および温排水等の監視調査結果について評価いただきました。

^{*}学識経験者などで構成される会議

環境放射線監視調査

柏崎刈羽原子力発電所周辺の空間放射線、ならびに農作物などの環境試料中の放射能を調査しました。

「問題となるような測定値は認められず、周辺環境への影響は無視できる」と評価されました。

温排水等漁業調査

柏崎刈羽原子力発電所周辺海域の水温、塩分やプランクトンなどの海生生物の状況を調査しました。

「これまでの結果と比較して特異な傾向は認められなかった」と評価されました。



環境試料の分析



ワカメ・ホンダワラの採取

結果ならびに評価の詳細は、新潟県ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.niigata.lg.jp/housyanoutaisaku/1356850683822.html>
新潟県ホームページ>産業・労働・まちづくり>エネルギー・情報化>(2016年08月30日)第65回評価会議

空気中の放射性塵埃の濃度を測定する機器の点検
佐藤(左)、友測(右)



24時間365日の調査と監視、機器メンテナンスを通じ 環境の放射線をモニタリング

原子力発電所では、空気中の放射線量や発電所の周辺で採れた農作物、海産物などに含まれている放射性物質の量や種類を測定しています。今回は放射線安全グループの押見克弘チームリーダーの司会で、環境放射線モニタリングに携わるメンバーが仕事の内容や意気込みについて語り合いました。

(2016年9月取材)



(左より)

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
原子力安全センター
放射線安全部 放射線安全グループ
環境放射線管理チームリーダー
おしみ かつひろ
押見 克弘

(左から4人目より)

東京パワーテクノロジー株式会社
原子力事業部新潟原子力事業所
保安管理部 保安運営グループ
さとう まさかず
佐藤 雅一

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
原子力安全センター
放射線安全部 放射線安全グループ
ともぶち ゆうすけ
友測 佑亮

東京パワーテクノロジー株式会社
原子力事業部新潟原子力事業所
保安管理部 環境化学グループマネージャー
ごとう ひさし
後藤 久志

東京パワーテクノロジー株式会社
原子力事業部新潟原子力事業所
保安管理部 保安運営グループマネージャー
すだ まさみ
須田 正美

東京パワーテクノロジー株式会社
原子力事業部新潟原子力事業所
保安管理部 環境化学グループ
しなだ かずみ
品田 一実

目に見えない放射線量を測定、 種類を調べる仕事

押見 新潟県及び柏崎市・刈羽村との安全協定に基づき行われている「環境放射線モニタリング」。この仕事に携わる東京電力の若手社員と、協力企業である東京パワーテクノロジーの皆さんにお集まりいただきました。「環境放射線モニタリング」とは、大地や大気からの放射性物質の量や自然環境の中にある放射線を出す物質の量や種類を調べ、原子力発電所が周辺の環境に与える影響を調査し評価する仕事です。

須田 私たち東京パワーテクノロジー保安運営グループでは、柏崎刈羽原子力発電所で使用されている環境放射線モニタリングに関わる90%以上の計測器の保守管理など大変重要な仕事を担当しています。私たちは、連続して放射線の量を測定するモニタリングポストを巡視し、点検を行っています。モニタリングポストは敷地内9カ所。1号機が稼働する前の昭和57年から、今と同じ場所で環境放射線の観測を行っています。現在のモニタリングポストは3代目。積算線量計、低線量率測定器、高線量率測定器が並んで設置されています。

佐藤 広い発電所敷地の外周部に設置された9カ所を定期的に巡回し、すべ



での機器が正しく動いているかを確認します。また、年1回モニタリングポストの点検・校正をしています。定められた位置に基準線源を置いて測定器が正確に動いているかをチェックします。自分が点検した機器の測定値が発電所や県のホームページで公表され、正しい数値が出ているのを自分の目で見て安心します。

押見 東日本大震災の巨大な津波で電源が喪失し、重大な事故につながった福島第一原子力発電所の教訓から、敷地内にモニタリングポスト専用の非常用ディーゼル発電機を設置しました。緊急時の対応についても訓練を重ねています。

福島第一原子力発電所の 事故を経て、より深まる安全意識

押見 柏崎刈羽原子力発電所では、福島第一の事故を踏まえ、さまざまな安全対策に取り組んでいます。代替設備を整え訓練を積み重ねています。対応できるのは人間しかいません。いざというときは、我々が必ずなんとかする、という強い思いを改めて抱いたと思います。皆さんは、事故後の意識にどのような変化がありましたか。

須田 これまでも、正確な点検・校正を行うという思いで業務に当たってきましたが、事故後はさらに安全と品質を重要視しています。データを取り扱う際には、厳密な品質管理を実施しています。また、仲間が怪我をしないよう、安全管理に日々注意を払っています。

佐藤 現場での安全面には今まで以上に注意を払うようになり、綿密さ、慎



低線量率測定器、高線量率測定器の点検は2人で相互確認

重さが増しました。ミスは絶対に許されないと考えながら仕事をしています。

後藤 私は、福島にいたこともあり、分析データを早く正確に出すことを意識しています。また、品質と安全に十分配慮した仕事に努めています。

品田 事故後は放射線量データの注目度がさらに上がっています。今まで以上に慎重に、正確なデータを取っていきます。

友測 東日本大震災が起きたのは大学3年生の時でした。「事故の報道を正しく理解している人はどのくらいいるのだろう」と原子力を専攻し、大学院に進んで昨年入社したばかりです。あの重大な事故を忘れずに、日々の仕事に打ち込んでいます。

押見 皆さんがおっしゃるとおり、事故後は原子力発電そのものに対する社会の関心が強まり、放射線に敏感になったり不安を抱いたりする人が増えていきます。「環境放射線モニタリング」の仕事がますます重要になっており、しっかりと正確に測定して、正しい数値を広く社会の皆さまに知っていただきたいという思いが強くなりました。



放射性物質を吸着する特殊な樹脂を器具に充填
吸着した放射性物質の特定には1ヵ月ほどかかる

分たちが測定したデータが公表されるわけですから、正確な数値を出す過程にやりがいを感じます。

押見 採取した試料は環境管理棟に運ばれ、ここでさまざまな分析や測定が行われます。棟内の一般計測室、専用計測室は、宇宙線や地面からの放射線に影響されないよう、50センチ厚のコンクリートで床、天井、壁を覆っています。

測定結果は評価会議にかけられて公表。今年8月の評価は？

押見 モニタリングポストや海水放射能モニタなどの値は、新潟県庁や柏崎市役所、刈羽村役場に送られ、一般公開されており、当社のホームページでも見ることができます。

また、環境放射線モニタリングの調査結果は放射線安全グループが取りまとめを行い、学識経験者らによる評価会議にかけられます。今年も8月30日に開催され、「問題となるような測定値は認められなかった」との評価をいただきました(2ページを参照)。これからはしっかりと体制で調査と監視を行い、周辺住民の皆さまが安心して暮らせるよう努力してまいります。

海中や土壌から試料を
サンプリングし放射性物質を測定

押見 次に、環境中の放射性物質を測る業務について伺いましょう。私たちは日常生活の中で、天然の放射性物質を体内に取り込んでいます。万が一、発電所から放射性物質が放出された場合、大気中や海水中に拡散されますが、一部は空気、水、土を經由して農産物や海産物に取り込まれ、私たちの体内に入ります。そこで、発電所内や周辺地域からさまざまなサンプルを集めて放射性物質の量を測定しています。

後藤 私たち環境化学グループでは、発電所における水質分析や環境分析に関連した仕事をしています。環境試料の分析では、海水、水道水、農産物や魚介類、松葉などの調査試料を採取し、前処理をした上で放射性物質の量を測定しています。

品田 調査試料の採取は年度計画に基づいて行われ、例えば海水は年4回、

土壌は年2回などとなっています。海産物は漁師さんの協力を得て採取していますが、漁獲量が少ない年があります。正確な測定結果を得るためにはある程度の量が必要なので、試料の採取はとても大切な工程です。海産物は魚類、貝類や海藻類。魚は発電所周辺の海から採取しますが、回遊魚ではなく他の場所へ移動しないマダイとヒラメを使います。

後藤 調査用試料に含まれる微量な放射性物質の量を正しく測定するためには大量の試料が必要となります。マダイなら一度に数十匹は必要です。自

Profile

押見克弘(おしみ・かつひろ)
柏崎市出身、昭和59年入社。放射線に関する仕事を一貫して行い、モニタリング18年目、チームリーダー4年目を迎えるTEPCOスーパーエンジニア(放射線管理部門)。仕事のリフレッシュは日帰り温泉巡り。

友淵佑亮(ともぶち・ゆうすけ)
福井県出身、平成27年入社。9月より現職につき、屋外に関する点検や設備管理を行う。リフレッシュはラーメン屋巡り。

須田正美(すだ・まさみ)
柏崎市出身、平成元年入社。東日本大震災後、福島第一で燃料取り出しの検討にあたる。リフレッシュは自転車、バドミントン。

佐藤雅一(さとう・まさかず)
柏崎市出身、平成4年入社。各種計測器のメンテナンス業務を経て現職。週末は、子どもの学童野球の応援でリフレッシュ。

後藤久志(ごとう・ひさし)
柏崎市出身、昭和56年入社。水質分析、環境分析を専門とする。青森や福島勤務を経て2月から現職。リフレッシュは、アルビレックス新潟のホーム観戦。

品田一実(しなだ・かずみ)
柏崎市出身、平成2年入社。環境試料分析一筋23年のベテラン。週末のリフレッシュは愛車(バイク)で近場を走ること。

発電所の自衛消防隊が
消防訓練競技で優勝しました!

9月1日、柏崎市消防本部で「第42回自衛消防隊消防研究大会」が開催されました。柏崎刈羽原子力発電所の自衛消防隊が、消火栓の部に2チーム、レディースの部に1チーム、それぞれ参加し、両部門での優勝を果たしました。

発電所の自衛消防隊の成績

—消火栓の部— —レディースの部—
Bチーム【優勝】 【優勝】
Aチーム【準優勝】



今後も引き続き、訓練に取り組み、災害に強い発電所を目指してまいります。



6・7号機の新規制基準への適合性審査の状況(9月13日現在)

現在、新規制基準への適合性について、原子力規制委員会の審査を受けています。至近の状況としては、2016年9月13日に耐震設計について、審査会合が開催されました。

済: 審査会合後に指摘事項に対する回答を行い、まとめ資料を作成中

■プラントの審査状況(審査会合:83回、現地調査:2回)

主要な審査項目	審査状況	
設計基準対象施設	外部火災(影響評価・対策)	済
	火山(対策)	済
	竜巻(影響評価・対策)	済
	内部溢水対策	済
	火災防護対策	済
	耐震設計	実施中
	耐津波設計	実施中
重大事故等対処施設	確率論的リスク評価	済
	有効性評価	済
	解析コード	済
	制御室(緊急時対策所)	済
	フィルタベント	済

■地震・津波などの審査状況(審査会合:29回、現地調査:3回)

主要な審査項目	審査状況	
地質・地盤	敷地周辺の断層の活動性	済
	敷地内の断層の活動性	済
地震動	地盤・斜面の安定性	済
	地震動	済
津波	津波	済
火山	対象火山の抽出	済

耐震設計等の一部項目を除いて、概ねご理解いただけたものと考えています。

審査会合の実施状況・審査会合資料は発電所ホームページに順次掲載しています。

<http://www.tepcoco.jp/kk-np/data/shinsakaigou-j.html>

柏崎刈羽原子力発電所>公表資料・データ>新規制基準適合性に係る審査会合実施状況